

2025年8月4日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【遊技機】他社牽制力ランキング 2024

トップ3はSANKYO、京楽産業、サミー

弊社はこのほど「遊技機業界」の特許を対象に、2024年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別に集計した「遊技機業界 他社牽制力ランキング 2024」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2024年に最も引用された企業は、1位 **SANKYO**、2位 **京楽産業**、3位 **サミー**となりました。

【遊技機業界 他社牽制力ランキング 2024 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	SANKYO	1,480
2位	京楽産業	861
3位	サミー	728
4位	ソフィア	501
5位	平和	478
6位	サンセイアールアンドディ	445
7位	ユニバーサルエンターテインメント	443
8位	大都技研	438
9位	ニューギン	400
10位	藤商事	392

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2024年12月までに公開された全特許のうち、2024年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計をしています。

また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2025年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。

なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **SANKYO**の最も引用された特許は「遊技の興趣を向上できるように、高確率遊技状態への移行を制御する遊技機」に関する技術で、三洋物産の計43件の審査過程で引用されています。このほかには「遊技の興趣向上を目指した可動部材を備え、様々な遊技媒体の流路切り替えが可能なパチンコ遊技機」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、三洋物産の計33件の拒絶理由として引用されています。

2024年に、SANKYOの特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は三洋物産（933件）、次いで京楽産業（274件）となっています。

2位 **京楽産業**の最も引用された特許は「遊技者の獲得した遊技媒体に関連する好適な演出を行うことができる遊技機」に関する技術で、大一商会やサンセイアールアンドディなどの計123件の審査過程で引用されています。このほか「電断復旧後でも遊技者に現在の遊技状態を把握させることができる遊技機」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、三洋物産の計117件の拒絶理由として引用されています。

2024年に、京楽産業の特許によって影響を受けた件数が最も多い企業は三洋物産（944件）、次いでSANKYO（681件）です。

3位 **サミー**の最も引用された特許は「演出に係るボタン機能の適正化が可能な遊技機」に関する技術で、京楽産業や大一商会など計54件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2024年に、サミーの特許により影響を受けた件数が最も多い企業は三洋物産（419件）、次いで大一商会（272件）となっています。

4位 **ソフィア**は「遊技者の操作によって明るさを調整可能な発光装置を備え、遊技の興趣を低下させない遊技機」、5位 **平和**は「ランプ演出のデータ容量を削減する遊技機」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【遊技機業界 他社牽制力ランキング 2024 データ】

- ▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※
(※データ一式を収録したCD-Rでの御納品をご希望の場合はご相談ください)
 - ・ランキング トップ30社：本業界の被引用件数上位30社のランキング
 - ・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応
- ▶価格：50,000円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL：<https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail：info@patentresult.co.jp